



Title	大阪大学低温センターだより No.84 裏表紙
Author(s)	
Citation	大阪大学低温センターだより. 1993, 84
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/21573
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

〈編集後記〉

編集委員になってからまだ1年ほどしか経験のない新米で、これまで4回出席した編集会議では、櫛田委員長はじめ委員の方々の活きのよい阪大オリジナルな話題にどう割り込んでゆくか、考えあぐねているうちに終了時間となりました。編集・印刷・発送などの実務は低温センターの竹内さん（豊中）と百瀬さん（吹田）とが行っておりますので、委員としての仕事は、会議での話題の中からネタを探し原稿を集めてくることになります。本号（No84）編集のとき、その日はたまたま出席者が少なく、もう一つの仕事、編集後記執筆のお鉢が廻ってきました。一瞬は躊躇したのですが、「来年4月に教養部はなくなる。そうすると、教養部からの委員として編集後記を書くのも最後のチャンスになるかもしれない」との思いが浮かんだのでつい引き受けてしまいました。

さて、本号にも専門分野のまったく異なる研究ノートの力作4報が掲載されております。『ガラス中のSm³⁺の室温ホールバーニング』と『酸化物高温超伝導体のトンネルスペクトロスコピー』の最近のお仕事、「電子の回転運動の直接検証」というgeneral（普遍的）な問題に関するホットな話題、トリカブト属の植物が種の保存のために自然界の温度変化を巧みに利用して発芽時期をコントロールする様子を長いタイムスパンで研究したお話、とバラエティーに富んだ内容となっております。門外漢にもわかりやすく、かつ実験の合間にでも気楽に読めるように、と気を配って執筆してくださった先生方に感謝いたします。

現在、教養部では前期課程の一般教育の大幅な見直しが始まっておりますが、大阪大学の大学院重点化大学への移行にともない、低温センターなどの研究支援部門の充実も必須になってくるようと思われます。『低温センターだより』がその活動の潤滑剤になれるよう、読者の皆様方の今後一層のご支援をお願い申し上げます。

（江口 太郎）

大阪大学低温センターだより 第84号

平成5年10月 発行

編集責任者 櫛 田 孝 司

発 行 者 大阪大学低温センター

吹田分室 大阪府吹田市山田丘2番1号

電話（06）877-5111 内線4105

豊中分室 大阪府豊中市待兼山町1番1号

電話（06）844-1151 内線2162

印 刷 所 阪東印刷紙器工業所

大阪市福島区玉川3丁目6番4号

電話（06）443-0936（代表）

目 次

No. 84

研究ノート

光電子回折における円2色性 —電子の回転運動の直接検証—

.....基礎工学部 大門 寛 1

ガラス中のSm²⁺の室温ホールバーニング.....理 学 部 栗田 厚 6

酸化物高温超伝導体のトンネルスペクトロスコピー

.....工 学 部 村上 博成

青木 亮三 11

カワチブシ（トリカブト属）の温度条件に対する種子の発芽特性

.....教 養 部 岡田 博 18

故山岸昭雄先生をしのんで 22

表紙説明：Si2p内殻光電子の放出角度分布（光電子回折パターン）。(a) 運動エネルギー=150 eV、円偏光の電場の回転の向きはこの紙面内で反時計回り、(b) 運動エネルギー=450 eV、円偏光は時計回り、(c), (d) は運動エネルギー=250 eV、円偏光はそれぞれ反時計回り、および時計回り。これらのパターンは、生データを分析器の透過効率パターンで割った結果である。（本文p. 1 参照）